

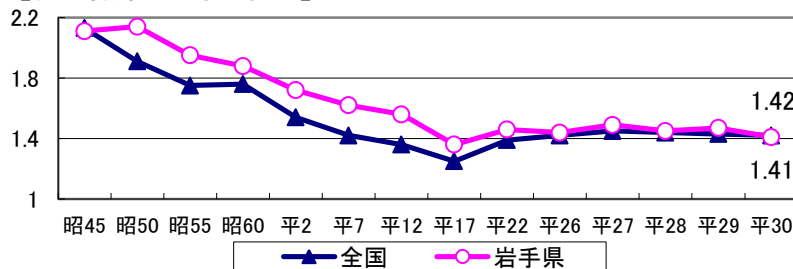
「いわて子どもプラン」改定の概要

子どもと家庭をめぐる状況

1 少子化の動向

○ 本県の合計特殊出生率は、昭和50年以降低下してきましたが、近年では横ばいになっています。平成30年は、本県の数値(1.41)が全国値(1.42)を下回りました。

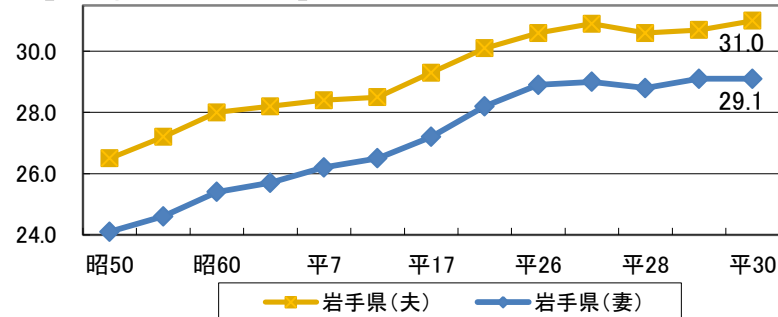
【合計特殊出生率の低下】



2 結婚を取り巻く状況

○ 出生数の減少の要因として、未婚化・晩婚化の進行があげられています。

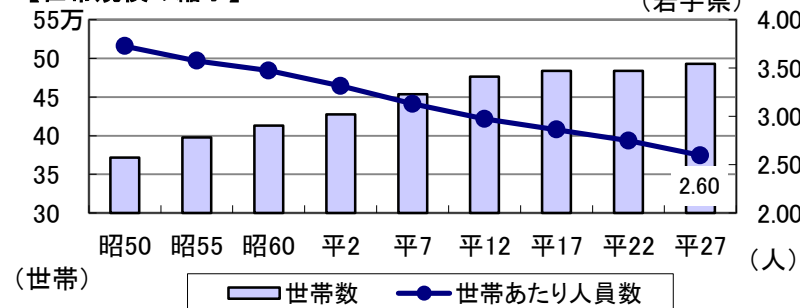
【平均初婚年齢の上昇】



3 子育て家庭の状況

○ 核家族化の進行によって世帯人員は減少しており、社会全体で子育てを支援する必要性がますます高まっています。

【世帯規模の縮小】



4 東日本大震災津波による被災の状況

○ 被災により、孤児94人、遺児489人が発生し、支援を必要としています。また、保育所など多くの児童福祉施設が被災しました。

【被災孤児・遺児数】

孤 児	遺 児	合 計
94人	489人	583人

【被災児童福祉施設の復旧状況】

被災施設数	再開施設数	うち、自施設再開
59施設	57施設	57施設

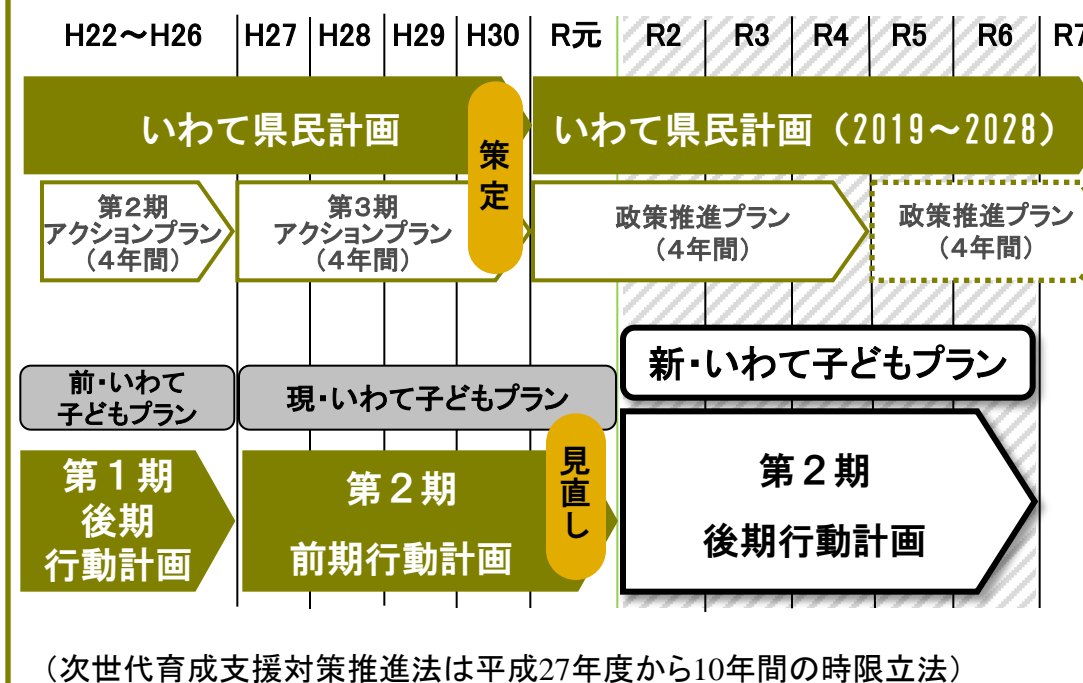
※残り2施設は、廃止

計画の性格

- この計画は、県民、企業、NPO、行政など、地域社会を構成するあらゆる主体の理解と参画を得て、本県の子育てにやさしい環境づくりや、子どもの健全な育成等を総合的・計画的に推進するための基本的な考え方と施策の基本的な方向を明らかにした実施計画です。
- また、いわての子どもを健やかに育む条例に規定する子ども・子育て支援に関する基本的計画及び次世代育成支援対策推進法に基づく岩手県行動計画として位置づけています。
- 子ども・子育て支援法に基づく「岩手県子ども・子育て支援事業支援計画」、子どもの貧困対策の推進に関する法律に規定する「いわての子ども貧困対策推進計画」、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく「岩手県ひとり親家庭等自立促進計画」及び「岩手県社会的養育推進計画」の一部も盛り込んでいるほか、国の母子保健分野の計画である「健やか親子21(第2次)」に対応しています。

計画の期間

- 令和2年度を初年度とし、令和6年度までの5か年とします。



計画の策定方針

子ども・子育て支援に関する施策等の推進に当たっては、これから家族を持つ若者の育成・支援や、現在子育て中の家庭への支援、さらには、子ども自身への支援が、結婚、妊娠・出産、子育ての各段階において切れ目なく行われることが必要であることから、施策の基本方向を、

- 若者が家庭や子育てに希望を持てる環境を整備する
 - 子育て家庭を支援する
 - 子どもの健全育成を支援する
- の3つに整理し、各種サービス等を利用する県民にとって、よりわかりやすい構成とします。

重視する視点

「いわて県民計画(2019~2028)」において、「家族・子育て」など10の政策分野を設定し、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開することとしています。

「いわて子どもプラン」においても、県はもとより、県民、企業、NPO、市町村など、地域社会を構成するあらゆる主体の参画を得て、「一人ひとりの幸福を守り育てる」という視点を重視しながら、計画を推進します。

策定スケジュール

令和元年7月~9月
◎ 子ども・子育て会議
(7月、8月、9月)

10月~令和2年1月
○ 12月議会報告議案提出
○ パブリックコメント
○ 地域説明会
◎ 子ども・子育て会議(1月)

2月~3月
○ 社会福祉審議会(報告)
○ 2月議会承認議案提出

3月
策定

「いわて子どもプラン」 改定の内容

基本方針

男女がともに家庭や
子育てに希望を持ち、
次代を担う子どもたちが
健やかに育つ環境づくり

岩手の子どもたちに 期待すること

岩手の子どもたちが、

- ・ 豊かな自然や伝統文化の中で、
岩手に愛情や誇りを持ち、
- ・ 人とのつながりを大切にしながら、
被災による困難からも力強く立ち
上がり、
- ・ 岩手の将来を担う若者として、
多様な活動に取り組んでいく

ことを期待しています。

施策の基本方向

若者が家庭や 子育てに希望を持てる 環境を整備する

男女がともに子育てをする意識の
醸成を図ります。

計画的な教育・保育の提供や若者
の多様な交流活動の促進、結婚、
妊娠・出産、就労の支援など、若者
が家庭を築くことや、子どもを生み
育てることに希望を持てる地域を目
指します。

子育て家庭を 支援する

地域の関係者が参画する「子ど
も・子育て会議」により、多様な保育
ニーズへの対応など、子育て家庭
への支援の充実を図ります。

仕事と子育ての両立のため、保育
サービスの一層の充実や教育・保
育の総合的な提供、子育てにやさ
しい職場環境づくりを推進します。

子どもの健全育成を 支援する

親子のふれあいや、遊びを中心と
した子どもの主体的な活動、多様な
世代との交流、健康・体力づくりな
どを推進します。

子どもの貧困対策、児童虐待防
止対策の充実や、東日本大震災津
波で被災した子どもや家庭への必
要な支援を行います。

豊かな自然や人と人とのつながり
を大切にする岩手の良さを体感しな
がら、たくましく生きる「いわてっ子」
の育成を支援します。

施策の具体的推進

- (1) 若者の豊かな心づくり
・社会全体で子育てを支援する機運醸成、子どもの権利に関する意識啓発、道徳教育、人権教育の推進
- (2) 若者の就労・結婚の支援や交流活動の促進
・新規学卒者等の県内就職促進、職場定着の支援や、若者の交流活動の支援
・結婚を希望する男女や、不妊に悩む夫婦に対する支援
- (3) 男女がともに子育てをする意識の醸成
・育児を支援する企業の認証・表彰の実施、イクメンハンドブック等による育児参加への意識啓発
・「いわて家庭の日」県民運動等により家庭の果たす役割や家族・親子のふれあいの大切さを啓発

- (1) みんなで子育てを支援する地域づくり
・地域子育て支援センター等、地域の子育て支援活動の充実、事故や犯罪等から子どもを守る地域の連携
- (2) 子育て相談や情報提供の充実
・あらゆる世代のニーズに対応した子育て応援情報の提供、各機関における相談支援体制の強化
- (3) 親と子の健康づくりの充実
・妊産婦に対する切れ目のない支援、小児慢性特定疾病児童の自立支援、思春期教育・相談の実施
・発達障がい児への相談対応、保育所、幼稚園での障がいの理解や指導法など適応への普及啓発
- (4) 保育サービスの充実と教育・保育の総合的な提供
・計画的な保育体制の確保、認定こども園の普及、潜在保育士の再就職支援等による保育士の確保
- (5) 子育てにやさしい職場環境づくり
・「いわて働き方改革推進運動」など仕事と生活の調和の啓発、小規模保育など地域型保育事業の実施
- (6) 経済的負担の軽減
・児童手当の支給や子ども・妊産婦の医療費の一部助成、幼児教育、保育の無償化、就学支援等の実施
- (7) ひとり親家庭等への支援の充実
・母子父子自立支援員等による相談や就業支援、家計管理支援など個々の家庭に応じた支援
- (8) 被災地における保育サービスの確保
・震災により被災した養育者の一時的な休息援助、保育支援研修会の実施、保育料の減免支援

- (1) 地域における健全育成活動の推進
・いわて子どもの森と児童館・放課後児童クラブとの連携推進、遊び環境の充実、指導者研修の実施
・子どもの生活実態調査結果を踏まえた、子どもの貧困対策の総合的な推進
- (2) 岩手の食育の推進
・食生活改善推進員等と連携した食育教室、農林水産業への理解醸成と食への感謝の心の育成
- (3) 児童虐待防止対策の充実
・虐待や疑い事案の速やかな通告の啓発、市町村及び児童相談所における機能強化、児童相談所と市町村や関係機関との連携促進
- (4) 社会的養護体制の充実
・里親支援の充実や児童養護施設等の小規模化・地域分散化等による、家庭的環境の下での養育の推進
- (5) 生きる力を育む学校教育の推進
・「主体的・対話的で深い学び」の推進、特別支援教育の幼少期からの継続した支援、進路支援の充実
- (6) 魅力ある社会教育の推進
・子育てやしつけに悩む親の相談体制や家庭教育に役立つ情報提供の充実、地域学校協働活動の充実
- (7) 被災児童に対する支援の推進
・いわて子どもケアセンターによる心のケアの実施、震災孤児・遺児家庭への相談・支援の実施